



令和 3年12月 7日 東久留米市立南町小学校 校長 永瀬 功二 栄養教諭 十河千代美

## 冬休みに親子で給食人気メニューを作ってみませんか?

今年もあっという間に1年が過ぎてしまいそうです。新型コロナウィルス感染予防に気を付けながら、学校生活 をみんなで励まし合いながら取り組んできました。免疫力を高めるためにも、おいしいお料理を作ってご家族で食 べて、心も体も満たしてみてはいかがでしょうか?

材料は5人分です。

### サクサクバーグ

鶏ももひき肉200g -凍り豆腐 10g

55g 玉葱 れんこん 55g

牛姜 2g

白ごま 5g

干ししいたけ 1枚

人参 20g 生パン粉 20g

たまご 1/2個

砂糖 小さじ2/3

塩・こしょう 少々

小さじ1 洒

焼きのり 5枚

たれ

無點 小さじ2

砂糖 小さじ1

小さじ1 みりん

だし汁 片栗粉 適官

大さじ1

В

# 作り方

つれんこん、玉葱、 しいたけは、みじ ん切。

②ひき肉を粘りが出る まで練り、Aを混ぜ 合わせ、小判型に成

形し、オーブンで焼 く。230℃5分位

> ③Bを鍋で煮立たせ 水で溶いた片栗粉

でとろみをつける。 4.00に2をもりつけ

③をかけ海苔を乗せ る。





### 豆乳仕立ての野菜汁

豚もも肉 50g

100g さつま芋

ごぼう 30g

人参 30g

板こんにゃく 30g

油揚げ 15g

長葱 70g

鰹厚削り節 6g

700g 水

豆乳 60g

白みそ 大さじ1.5

赤みそ 大さじ3/4

### 作り方

1)さつま芋は厚めの イチョウ切、ごぼう は、ささがけ、人参 はイチョウ切、板こ

んにゃくは色紙切、

油揚げは短冊切、長

葱は、斜め小口切

②だしを取る。

③鍋にだしをはり、根 菜類から入れあくを

取りながら火を通す。

4火を止めて、味噌を 溶き長葱を散らす。



#### カレーおこわ

165g もち米 米 190g 小さじ3/4 洒

ターメリック 小さじ1/4

だし汁 360g

塩 少々 ウスターソース小さじ2 A カレー粉 小さじ2 無醫 小さじ2 だし汁 大さじ1

人参 10g 玉葱 120g

ウィンナー 60g 本しめじ 40g 白こしょう 少々

作り方

1)昆布と鰹節でだしを取って おく。

②米、もち米を研ぎ、Aを炊 飯器に入れ混ぜ合わせ炊く。

③人参、玉葱は粗みじん切、ウィンナーは1cm 幅にカット、本しめじはほぐしさっと下茹 で。

4だし汁調味料を合わせた鍋に人参、玉を入 れて火を通し、ウィンナーを加える。

⑤炊きあがったご飯に4を切るようにして混 ぜ合わせる。



# えた 高めよう!



① 野菜をたっぷり!



③ みそ汁1杯で医者いらず!



② 朝のくだものは金!



**④** よくかんで養べる



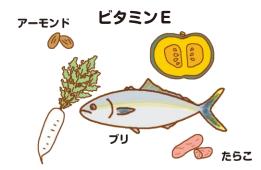
# ACE EDT ED TO THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF

冬を健康に過ごすため、食事では体の調子を整えるビタミンをしっかりとりましょう。とくに体の抵抗力を高めるビタミンA・C・E、冬に不足しがちなビタミンDは意識してとりたいですね。じつは、これらのビタミンは、冬においしい食べ物にたくさん含まれているんですよ!

### ビタミンA(カロテン)



体の粘膜を強くし、かぜ予防に役立ちます。冬に おいしい野菜やみかんなどのかんきつ、旬の魚のたら、 またレバーや卵(卵黄)にも多く含まれています。



血液の流れをよくし、体の"サビ"つきを防ぎます。 油に溶ける性質をもち、ハンドクリームやローショ ンなどにも使われているビタミンです。

### ビタミンC



寒さなどのストレスでダメージを受けた体をいた わります。果物だけでなく、野菜やいもにも多く 含まれています。

## ビタミンD



丈夫な骨づくりに役立ちます。日光を浴びること で人体の中で作れる栄養素ですが、日照時間が短く なる冬は食べ物から意識してとる必要があります。